



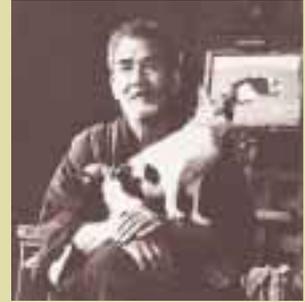
《猫》愛知県美術館(木村定三コレクション)蔵

天与の色彩
究極のかたち

熊谷守一展

没後30年
くまがいもりかず

会期 **10月27日(土)～12月2日(日)** (毎週月曜日は休館)
開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会場 成羽町美術館
観覧料 一般800円、65歳以上・高校・大学生600円
小中学生300円(市内の小中学生は無料)
※20人以上団体は2割引



《かまきりとひがん花》婦人之友社蔵

「超俗の人」「画壇の仙人」と呼ばれた熊谷守一は、1880年(明治13)岐阜県中津川市付知町に生まれました。東京美術学校(現・東京藝術大学)西洋画科では、黒田清輝、藤島武二の指導のもと、青木繁や児島虎次郎らとともに学びます。そして1977年に97歳で亡くなるまでの約70年にわたって絵を描き続けました。

猫、蝶、アリ、カエル、野草野鳥など、日常の身近な生き物に心を奪われ、小さな板に描き続けた画家の作品は子どものような純真さをたたえているともいえるでしょう。没後30年を記念する今展では、全国の美術館、所蔵家からの協力を得て、160点もの作品が成羽町美術館に集結します。この機に「いろ」と「かたち」にこだわり続けた、画家の歩みをご覧ください。

オープニングギャラリートーク

日時:10月27日(土) 午前11時30分～(約40分)
講師:池田良平さん(天童市美術館学芸員)

学芸員によるギャラリートーク

時代背景や画家のエピソードをまじえながら作品を紹介
日時:11月11日(日)、11月23日(金)
午後2時から(約30分)

ワークショップ「身近な生き物を描こう」

展覧会作品鑑賞と熊谷守一の絵作りに挑戦
日時:11月17日(土) 午後2時から(約2時間)
講師:美術家・関崎 哲さん(岡山県立大学准教授)
対象:小学生以上(定員:20人)
申込:電話またはホームページから申し込みください。

※「熊谷守一展」開催中は「児島虎次郎作品および児島エジプトコレクション」はご覧いただけません。

記念講演会 「熊谷守一と向き合うために」

日時:11月4日(日)
午後1時～午後2時30分
会場:成羽総合福祉センター
講師:美術史家・山下裕二さん
(明治学院大学教授)
聴講料:無料(全席自由)



成羽町美術館

NARIWA MUSEUM

〒716-0111 高梁市成羽町下原1068-3
TEL42-4455 FAX42-4451
<http://www.nariwa.ne.jp/museum/>

編集と発行(毎月15日発行)高梁市総務部企画課

〒716-8501 岡山県高梁市松原通2043 電話0866(21)0210 ホームページアドレス <http://www.city.takahashi.okayama.jp/>



この印刷の一部には水質保全に有効な水なし印刷方式を採用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。